自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。]

自	自 外 項 目		自己評価	外部評価	<u> </u>
自己	部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.Đ	里念し	- 基づく運営			
	, ,		地域密着型サービスの意義を勉強会や基礎研修等で職員全員に認識させている。 日頃から職員同士がサービスの提供について話合い、理念がケアに反映されているか検討をしている。	玄関、スタッフルームに理念を掲示し、日々のケアの中で、振り返りながら「みんなが主役」であり、その人らしい生活を送って頂けるよう、入居者さんとの関係づくりを実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	ホームでは定期的にボランティアの方による読み聞かせの会や踊りの会などを開催している。 園芸や押し花等のボランティアの方も積極的に ホームへ出向いて下さっている。	夏祭りや畑づくりを通して、施設内に近隣の人たちが来やすいような雰囲気作りに努めている。また、地域の行事(お祭等)にも参加して、交流を深めている。	
3		子かしている	他の事業所(小規模多機能施設)の運営推進会 議に定期的に参加し、事業所で実践している認 知症の方との関わり方や援助の方法等の意見 交換を積極的に行っている。		
4	(3)	〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	前回の運営推進会議で取り上げられた検討事項について、その経過を報告し、1つ1つ積み上げていくようにしている。 事業所が現在行っている具体的な取り組みについて内容を報告し、意見をもらうようにしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開いている。その際、地域の人の意見等を伺い、運営に生かすよう努めている。行政の参加は得られるのが難しく、 今後の課題でもある。	
5	(4)		生活保護法による保護申請書の手続きの機会 等に市町村担当者へ、利用者の生活状況や ニーズを伝えている。	入居者さんの担当ケースワーカーと情報交換したり、介護認定等で連絡を取り合っている。また、市町村には代表者自ら出向き、相談等を行い、協力関係を気付くようにしている。	
6	(5)	代表者および全ての職員が「介指定基準における 禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解して	に個別で指導し理解を求めている。	自由に敷地内の畑や庭へ出かけられるよう、玄関の施錠はしていない。職員一丸となり、拘束をしないケアに向けて取り組んでいる。また、新人社員には身体拘束や高齢者虐待の研修も行っている。	
7		て学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での東待が見過ごされることがないよう注意を打	新入職員には「高齢者虐待防止法」をもとに個別で指導し理解を求めている。 勉強会で全職員に高齢者虐待について話し合い、職員の共有認識を図っている。		

自	外	-= D	自己評価	外部評価	<u> </u>
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	運営推進会議で司法書士の方による成年後見 人制度についての説明会があり、管理者と一部 の職員が参加した。		
9		行い理解・納得を図っている	契約時には、時間をとって丁寧に説明を行い、利用者や家族の方の疑問等には納得頂けるまで説明を行っている。 特に、利用料金や重度化した時の対応方針については詳しく説明し、同意を得るようにしている。		
		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	ご家族の訪問時には、積極的に声を掛けさせて 頂き、ご意見・ご要望を話して頂ける様な雰囲気 作りを行っている。 ご意見・ご要望に対しては、早急に検討し可能な 限り対応する様にしている。	家族が来訪しやすい環境を作ると共に、何でも話せる関係作りに努め、また、意見や要望等が気軽に聞ける様な雰囲気作りに努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度、経営者を交え全事業所合同での会議を行っている。 事業所内でもユニットカンファレンス、勉強会をそれぞれ月1回行い、意見を聞く様にしている。また、日頃からコミュニケーションを図る様に心がけ、意見や要望を聞く様にしている。	職員の個人面談を定期的に行っており、直接、代表者や管理者に意見や要望等が反映される構造が出来ている。また、社内研修において、個々の希望や意見を聞きながら、環境設備面等の話し合いが行なわれている。	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	職員へ研修参加を促し、向上心を持って働ける 様に働きかけている。 職員の疲労やストレスの要因について気を配り、 職員同士の人間関係を把握する様に努めてい る。		
13		代表者は、管理者や職員一人ひどりのケアの美際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人職員に対しては、3ヶ月間トレーニングノートを活用して、集中的にケアの技術面及び利用者の関わり方を指導、教育を行っている。職員個々のレベルに合わせて、社内研修に参加する様に働き掛けている。		
14		会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問	他の事業所(小規模多機能施設)の運営推進会 議に定期的に参加し、サービス内容について検 討、意見交換を行い、サービスの質の向上を目 指している。		

自	外	福 日	自己評価	外部評価	
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II .3	そ心と	:信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の 安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が困っている事、不安に思っている事に ついて直接話を聞くと共に、利用者が今してほし いだろうと思われる事について、こちら側から応 えられる様に心がけている。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	ご家族から要望を聞きだす様にし、事業所として 対応可能な事は速やかに返答、実施する様にし ている。対応が難しい事については、双方の妥 協点を探し、納得出来るまで話をする様にしてい る。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「そ の時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	本人の意見、要望を第一に優先する事は大事だと思われるが、ご家族の協力を中心に協力者の 支援がどの程度得られるかを見極め、本人と納 得出来るまで、話を行う様にしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩という考え方を職員が共有し、困った時には良き相談相手となってもらったり、助言を頂く様にしている。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご家族の訪問を積極的に促し、本人の気持ちや 職員の考えをお伝えし、職員とご家族がいっしょ に本人を支えて行く体制を築いて行ける様にして いる。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	様に働き掛けている。	馴染みの関係が途切れないよう、積極的に家族 の訪問を呼びかけている。また、遠方に住む家族 に対しては、電話や手紙を通じて、交流を図るよう 努力している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	日頃の生活上で利用者同士の関係を良く観察する様にしている。 その上で、役割活動時に利用者同士が円滑に行える様に職員が調整役となっている。		

自	外		自己評価	外部評価	<u> </u>
己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの提供が終了された方やご家族からの相談には、丁寧に対応させて頂き、出来る限りの情報の提供を行う様にしている。 他の事業所に移られてからも、質問等に対しては、注意点や解決の手段の情報提供を継続的に行う様にしている。		
Ш.	その	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン	-		
23		ている	集し、本人の思いや暮らしの希望を把握する様 に努力している。	できるだけ入居者に寄添い、個々の意向や要望を 最後まで傾聴し、聞き取るようにしている。また、 家族とは来訪時にお茶を飲みながら和やかな雰 囲気の中、話し合っている。職員は利用者の希望 が叶えられるよう、日々努力している。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に知りえた生活歴をもとに、本人やご家族から、さらに情報を収集する様にしている。 生活歴の内容が充実すれば、今本人が何に困っているか、不安を抱いているかを把握しやすくなる事を職員が認識している。		
25			利用者一人一人の生活リズムがそれぞれ違う事を職員は理解し、画一的なサービスの提供にならない様にと考えている。 生活状態をしっかり観察し、本人の身体的・精神的能力の把握に努めている。		
26	(10)	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人にとって困った問題が発生した時には、本人から話を聞き、行動を観察し速やかにケアカンファレンスを行い、立てた援助項目を実行し期間を決めてモニタリングを行う様にしている。 必要に応じて、ご家族に報告し、ご意見を頂いている。	担当制を取っている。利用者本人がより良く暮らせるために、本人の要望や希望をしっかりと把握し、また、家族の希望や要望を取り入れながら、生活習慣(状況)に即した介護計画を作成している。	
27		個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、排尿量・水分摂取量など、職員に必要性について理解を求め、実践している。利用者の日頃と違う心身状態については、ケア記録に記載し、職員間の情報の共有を徹底している。必要に応じて、生活援助計画の見直しを行い、ケアの統一を図っている。		
28		に対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟	かかりつけ医以外の受診に関しては、ご家族による対応を基本としているが、 ご家族の状況に合わせて、受診・通院の援助を 行っている。		

自	外		自己評価	外部評価	ш
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に町内会の方や地域包括支援センターの方に参加して頂き、情報の提供をして頂いたり、助言を頂く様にしている。 事業所外での地域資源について活用する事が出来ていない。		
30	, ,	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族へ入居契約時にかかりつけ医の 往診が可能か、夜間でも連絡がとれるかを確認 し、可能であれば継続してもらっている。 現在の利用者は、全員協力医療機関となってい る。	施設内の看護師と協力医療機関が連携して、適切に、そして、速やかに受診支援が行われている。また、緊急時の受け入れ病院も確保できており、適切な医療が受けられる体制が整えられている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	介護職は日頃から利用者の状態の変化に気を 配り、記録に残す様にしている。 看護職が勤務の時には、最近の健康状態を詳 細に伝え、対応について協議している。必要に応 じて主治医へ報告し、指示を頂く様にしている。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係 者との情報交換や相談に努めている。あるいは、 そうした場合に備えて病院関係者との関係づくり を行っている。	入院時には、2・3日おきにお見舞いに行き、状態の把握に努める様にしている。 担当医やご家族より回復状況等情報交換を行い、早期の退院支援に結びつける様にしている。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	連携をとり、安心して納得した最期が迎えられる	本人、家族の希望を重視している。利用者の状況によっては、主治医の指示の下、看護師による医療行為も可能であり、看取り支援も視野に入れている。また、緊急時の受け入れ病院も確保されており、家族や主治医と相談しながら終末期の方向性についてその都度、話し合っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	緊急時の対応について、マニュアルを整備し周 知徹底を図っている。 救急搬送についても、勉強会等で周知徹底を 図っている。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	指導を受けている。	年2回、避難訓練を実施しており、近隣住民の協力も得られている。訓練後のミーティングで問題点を取り上げ、訓練の見直し等を行っている。	

自己	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV.	その	人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(14)	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	意思を確認してから行う様に心がけている。	居室入口ののれんやトイレ誘導時の声かけ等、 入居者のプライバシーに配慮した対応が出来ている。また、入居者体験をすることで、入居者さんの 気持ちを理解するように努めている。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	それぞれの利用者にあった声かけを行う様にし、 意思表示が難しい方には、言葉以外の表現を理 解する様に心がけている。 利用者自身が意思決定出来る機会(入浴・着替 え等)を出来る限り提供する様にしている。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、出来る限り一人 ひとりの生活リズムを大切にする様にしている。 入浴や食事の時間等は、職員の都合で決めてい る事がある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	生活習慣を尊重し、化粧品等は以前から使用していた物を用意する様にしている。 男性の利用者には、個々の能力にあわせて、毎日髭そりが出来る環境を整えている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	にしている。	施設の畑で利用者さんと一緒に収穫した作物をメニューに取り入れることで、話題の一つとなっている。月に1回、給食会議を業者と行い、美味しい食事作りに取り組んでいる。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	利用者全員の食事量を把握している。 個別に主治医より水分量をチェックする様に指示があった利用者については、確実に行っている。 それぞれの方にあった食事の形態を提供する様 にしている。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	自分で出来る方には声かけをし、出来ない方に対しては、一人ひとりの能力に合わせて口腔内の清潔保持を行う様にしている。 基本的には、毎食後行う事としているが、今までの習慣や本人の意向を配慮している面がある。		

自	外	·	自己評価	外部評価	<u> </u>
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人にあった紙パンツ・パットを検討し、使用している。 本人の排泄パターンを把握し、定期誘導を行う様にしている。 あからさまな誘導ではなく、さりげなく援助する様にしている。	排泄パターンを記録・確認し、定期的なトイレ誘導を行うことで、紙パンツから布パンツへの移行を積極的に支援している。	
44		〇便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	排便パターンを把握し、トイレにて排便を促す様にしている。 便秘の方にはオリゴ糖やプルーンなど本人に あった物を用意している。 勉強会等で、水分補給の重要性について職員同 士で理解を深める様にしている。		
45		楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている			
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支 援している	出来るだけ日中の活動を促す様にしている。 一人ひとりの就寝パターンを把握し、夕方以降の 生活環境を整える様にしている。 寝付けない時には、お部屋の温度を調節したり 好みの飲み物等を出す様にしている。		
47		状の変化の確認に努めている	服薬時は本人に手渡し、服薬されるまでを確認している。 薬の変更があった時は、以前と比べて症状が改善に向かっているか、新たな問題が起きていないかを記録に残し、主治医に報告する様にしている。		
48		人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴から、役割を見つけ 家事への参加や趣味の提供を行っている。 毎月の行事に対して企画の提案や開催までの過 程の中で、作業等の協力を求めている。		
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望をお聞きして、月に1回のペースで 遠方へ外出を行っている。 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出 かける支援は行えていない。 ご家族の方には、積極的に一緒に外出して頂け る様に働きかけている。	時間を決めないで、利用者の希望に合わせた外 出支援が提供されている。また、天気の良い日は テラスに出て、外気浴を楽しんだり、ボランティアと	

自	外	D	自己評価	外部評価	ш
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人とご家族に相談し、少額を手元に持って頂いている方がおられる。買い物に出かけられた際に自分で払って頂く様にしている。 本人の不安や満足の為に手元で所持されている方もおられる。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により、ご家族へ電話をかけ会話を 楽しんで頂く様にしている。 電話をされる時には、椅子を用意しゆっくりと話 が出来る様な配慮を行っている。		
52	(19)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	臭いや感染予防の為、喚起を頻回に行う様にしている。 温度・湿度計で確認したり、利用者に声を掛けて 室温の調節を行っている。 利用者からの希望により、家庭的な雰囲気ではないが、壁に塗り絵を貼っている。	共用空間は広く、ゆったりとしており、落ち着いて 過ごせる空間となっている。また、室温や空調の 管理に力を入れており、除湿機等を配置して、快 適に過ごせるよう工夫している。	通路の照明が少し暗く感じました。明るくすることで、違和感なく居室の出入りができ、転倒防止にもつながると思います。
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	共有空間で独りになれたり、気の合った利用者 同士で過ごせる様に、ソファーや椅子を適度に配 置している。 利用者同士の関係性に配慮した、席の配置を考 えている。		
54	(20)	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	呉を持ち込んで頂く怺に説明している。 寝具もそれまで使用していた物を持ち込んで頂	昔、自宅で使っていた家具を持ち込んで、居心地 良く過ごせるよう、各自工夫された居室となってい る。家族の泊まりにも対応しているが、現在の所、 家族の外泊は行なわれていない。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	利用者が特定の場所(便所・風呂・居室)を認識 しやすい様に環境の整備を行っている。 混乱や行動の失敗が続く時には、その原因を分 析し改善を図る様にしている。		